令和6年度 学校評価報告書

学校番号(小10) 長崎市立(西坂小)学校

1 教育目標

「人間性豊かな、心身共に健康で、自ら判断し、行動(表現)する力をもった、たくましい子ども」の育成

2 学校経営方針

- 1 児童や地域の実態を踏まえて学校教育目標や学年(学級)目標を設定し、その実現に向け、教育課程を編成し、PDCAマネージメントサイクルに則って計画的に実施する。
- 2 児童の心身の健康を確保し、児童が安心して生活し、学習できる居場所づくりに努める。
- 3 児童一人一人の良さや可能性を尊重し、知・徳・体の調和のとれた心豊かな人間形成に努める。また、一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育を行う。
- 4 一人一人の教師が教育専門職としての使命感と指導意欲をもち、資質及び指導力の向上に努める。また、高い倫理観を保持し、服務規律を遵守する。
- 5 校務分掌が機能し、職員相互の人間関係が信頼で結ばれ、共通理解・共通実践を行うことで、生き生きとした教育活動ができるようにする。
- 6 校地、校舎、施設等を整備し、安心安全で、清潔感あふれる教育環境づくりに努める。
- 7 地域の特色を生かした教育活動を展開し、保護者や地域の方々の相互理解・相互協力の下に、諸活動の成果を上げる。
- 8 毎日元気に子どもたちの前に立ち、子どもたちの未来につながる力を育む教育を行うために、働き方を見直し、校務を効率的に推進する。

3 重点目標

- 「確かな学力の向上」：個に応じた指導の充実に努めることにより基礎・基本を確実に定着させ、それを基に自ら学び、自ら考え、他者と交流し、判断し、行動できる「生きる力」の育成を目指すとともに、職員の指導力の向上を図る。
- 「心の教育の充実」：生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、国際感覚、倫理観、正義感、美しいものや自然に感動する心など、調和のとれた心豊かな人間性を培う。
- 「健やかな体の育成」：体育的活動の充実、健康増進に向けた取組の徹底、安全教育の確実な実践等を通して、健やかな体の育成を図る。

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	97	100	91	昨年度からの改善を受け、学校目標の周知や明るい雰囲気づくりについては児童や保護者から良い評価を得られた。 業務の改善については、児童の登校確認を管理職が行ったり繁忙期に短縮日課を実施したりした昨年度の取組が当たり前になったことに加え、児童の始業前の活動に対する教職員の対応改善を求める意見等により、評価が低くなったものと考えられる。今後は校務内容の均等化を図りながら、さらなる改善を進めていきたい。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	98	96	91	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			82	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			73	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	94	98	100	全職員が、子どもたちや保護者に寄り添うことを学校の重点事項に位置付けて取組を進めてきた。「教職員は悩みや相談に親身に対応している」や「学校はいじめ防止のための対策をとっている」の項目について、児童・保護者とも高い評価を受けたことは、日々の地道な努力が評価されたものと考えられる。また、「学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている」の項目についても保護者評価が伸びている。誰一人取り残さないという学校の姿勢がしっかりと伝わっているものとうれしく思う。「あ・は・は運動」の項目については保護者の周知度が低下している。1年生の保護者に対する啓発が足りなかったと反省している。生活指導上の大きな問題もなく落ち着いて学校生活を送れているが、それに安心することなく、今後も児童・保護者に真摯に向き合う教育活動を行ってきたい。
		挨拶をよくしている	95	94	100	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	99	72	91	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	99	100	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	99	94	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	99	98	100	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	100	91	100	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	100	100	100	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	100	93	100	特色ある学校づくりについては前年度評価とほぼ同評価であったが、他の項目については児童・保護者とも良い評価を得られた。本校は英語に関する学習活動に数年来継続して注力し、今年度も市内のALT数名に協力いただき、本物に接する機会を設けながら取り組んできた。また、日常の学校生活や行間の時間に英語に親しむ活動を取り入れている。今後も本校の特色として活かしていきたい。学習指導については、教職員の向上心や努力が評価された結果とうれしく思う。家庭学習の習慣化については、保護者の協力があってこそ習慣化につながるものであるため、今後も協力を促しながら習慣化の向上を図っていきたい。キャリア教育については、地域性を活かした活動を取り入れながら進めている。そのため、児童全員が住んでいる地域が好きという回答につながった。今後は地域性を活かした活動が、どのように将来の自立につながるのかという点に課題を置いて指導に努めていきたい。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	98	98	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	90	91	100	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	84	94	100	
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	100			

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	99	98	100	児童の体力向上がここ数年の本校の課題の一つとなっている。夏から秋にかけて今年度も熱中症が心配される日が続き、児童の運動や遊びを制限することが多くあった。思うような体力向上の方策が図れなかったのが残念であった。2学期後半からは、「縄跳び道場」などの取組を進め、児童の体力向上に対する意識の高まりを感じるが、評価時点ではまだ保護者にまでは伝わっていなかったものと考えられる。 基本的な生活習慣については、教名の決まった児童が登校時刻が遅くなる傾向にあり、不登校傾向の様子がうかがえる。家庭と連携を図り、改善に向けた取組を進めていく。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的な生活習慣)が身に付いている	87	87	91	
		体力向上に努めている	93	94	100	
	食育	食に関する教育活動を行っている	95	96	100	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	100	96	100	本校は地域との連携が子どもを守るNW会長を中心に十分に図られている。定例的に「地域見守り集団下校」を行っていることで、安全管理については、一定の評価を得ている。また、今年度も地域と連携した多くの行事が開催され、地域の中の子どもという風土を感じる。ただ、事前の準備等、関係者の負担が強くなりすぎないよう、今後も効率的な行事の開催に向けて、地域と協議しながら進めていく必要がある。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	100	98	91	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	94	100	100	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	100	98	100	教育環境については、地域や保護者からの意見に対し、素早く対応でき、樹木の剪定等にも計画的に取り組むことで高評価が得られた。施設の老朽化は見られるが、掃除の行き届いた、美しい学校を目指して取組を継続していく。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる				

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

学校教育方針を意識した教職員の日々の地道な努力が子どもや保護者にしっかり伝わったように感じる。今後は、「子ども、保護者、地域」の三方向良しに、教職員の「働きがい」に対する取組を進めることで、教育の質をさらに高められるよう環境を整えていきたい。

前年度より「あいさつ・返事・ありがとう」を合い言葉に、学校全体で継続して取り組んでいることで、コミュニケーション力向上につながってきている。また、喫緊の課題である体力向上については、イベント的な取組に加え、体育科の授業で日常的に行っている西坂セット運動に持久力向上につながる運動を加えることで体力の増進を図ってきたい。

地域の様々な行事に対して学校や育英会が主体的に協力したり、学校の行事に関しては地域の方々積極的に参加したりしていただくことで、地域の中の学校として充実した活動が行えている。そのような中、地域の方々の高齢化が懸念される場所である。今後も地域の中の学校として充実した活動が行えるよう持続可能な体制づくりを学校、保護者、地域で知恵を絞っていきたい。

6 学校関係者評価

教職員が日々努力していることが児童や保護者に高評価を受けていることは大変喜ばしいこと。学校の一人も取り残さないという姿勢がしっかり伝わっていると感じる。

保護者や地域の協力により生活指導上の問題で教職員の業務時間が割かれることが少ないということは、働き方の面においても精神的な面においても大変素晴らしいこと。今後も保護者や地域との協力体制や信頼関係づくりを維持、増進させてもらいたい。

地域見守り集団下校や100人パトロール等の活動の際に、危険個所の点検や確認だけでなく、消火栓の場所やその役割等についても児童に知らせていくことで、安全な地域づくりにつながるのではないかと。

学校運営については、他の項目と比べると教職員の評価が低いようであるが、教職員が働きやすい環境づくりをさらに進めてもらいたい。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

学校評価アンケートで肯定的評価をいただいた内容については、それに安心することなく、今後も児童を一人も取り残さない姿勢と保護者に寄り添った態度で教育活動を行ってきたい。近年の本校の課題である体力の向上については、運動する機会をイベント的に実施するだけでなく、体育科の授業の際に準備運動として行っている西坂セット運動に持久力向上につながる運動を取り入れるなど年間を通して行う取組を考えていきたい。

安全な地域づくりに関しては、学校内での防災教育だけでなく、校外学習の行き帰りなどちょっとした時間に地域の安全に役立っているものやその場所を児童に知らせていけるように心掛けていきたい。

教職員の働きやすい環境づくりについては、日課表や行事、短縮日課等の学校だけでできる物理的な改善は限界にきているが、校務の均等化やフレックスタイムの奨励等でさらに働きやすい環境の推進に努めていきたい。